

# つなままち

2020年4月22日発行

No.215

町長施政方針	02
令和元年度補正予算、令和2年度予算	03
一般・特別会計討論	04~05
総括質疑	06
陳情、議案採決結果	07
一般質問 町政を問う	08~13
人事、発議	13~14
委員会レポート	15
町民登場	16



新しい通園バスでGO!

津南町議会

検索 

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。  
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 吉野 徹

# 令和2年度町長施政方針

昨年5月に新天皇が即位され「令和」の新しい時代がスタートしました。また昨年、当町では異常気象による夏場の干ばつ、台風による信濃川の洪水で大きな被害が発生しました。

「希望と愛、参加できる町づくり」が私の基本理念であります。「津南未来会議」の提言を実施できる事業から新年度予算に反映させていきます。財政事情が年々厳しさを増していく中、事業見直しを行い、財政調整基金の取り崩しを抑え、持続可能な財政を念頭におき予算配分いたしました。

## 予算総計

当町の一般会計総額は前年度比2.0%増の65億4,800万円、特別会計の総額は51億4,084万円と合計は前年度比2.3%増の116億8,884万円となりました。

## 主な歳入状況

歳入については、町民税、固定資産税は減少となりますが、

地方交付税と特別交付税は合わせて前年比1.9%増の30億7,000万円を見込みました。

## 主な歳出（施策）

### 総務関係

① 地域公共交通：生活路線確保のため路線バスの補助及び通園・通学や通院のための乗合タクシー事業の実施。

② 消防対策：耐震型貯水槽、消防設備の整備・充実の推進。

### 福祉保健関係

① 高齢者対策：住み慣れた自宅や地域で生活できるように「緊急通報装置」の安否確認、食事の提供サービスと健康寿命を延ばす取り組み。

### 環境衛生関係

① ゴミ処理場は可燃物について十日町市への委託の協議を行う。但し住民サービスは堅持したい。

### 農政関係

① 畑作：「津南の雪下になじん」がGI登録され、これを契機にユリ、アスパラなどの生産振興やキャベツ収穫の機械化を支援。

② 稲作：令和4年に「米・食

味分析鑑定コンクール」の国際大会が津南で開催予定である。津南の農産物のPRをする。

③ 担い手対策：新規農業法人に機械、施設費、経営安定化のため国県補助に町として10%上乗せ補助を継続。



## 林業関係

① 森林環境譲与税により森林組合と共に整備を進める。

## 観光関係

① 本年は「観光地域づくり法人」の設立に向け検討開始。秋山郷の観光資源など地域住民との交流を図り、元氣な観光地域づくりを進める。

## 建設関係

① 「灰雨新トンネル」の早期着手と「十二峠新トンネル」早期事業化を要望。

② 赤沢地内長坂の拡幅工事継続と結東上郷宮野原線の加用

地内、中深見越後田沢停車場線所平拡幅改良について新規事業として要望していく。

## 河川関係

① 足滝、田中、巻下地区の災害復旧工事の早期完了と信濃川河川改修の促進に努める。

## 教育委員会関係

① 保育園整備では子どもたちのより良い育ちの環境と保育サービスに対応するため、ひまわり保育園の増改築設計と園庭の造成に取り組む。

② 学校教育では新学習指導要領により小学校の英語教育全面実施となり、外国語講師を増員し学習環境の向上を図る。

③ 文化財関係では埋蔵文化財センターを苗場山麓ジオパーク拠点として、将来構想について住民と論議を重ねていく。

## 病院事業

① 外来については診療体制のスリム化。地元出身の内科医師を招聘し、内視鏡検査や訪問診療を担当していただく。

② 入院については、在宅ケア病床を17床に増設し、更に安心して入院できるような患者様に寄り添ったサービスを提供する。

## 令和2年度予算

## 一般会計

65億4,800万円

## 重点施策の主な項目

## 総務費

県との人事交流負担金

965万円

定期バス運行補助・地域公共交通  
運行事業

7,802万円

地域おこし協力隊設置事業

2,450万円

集落支援員設置事業

640万円

## 民生費

要援助世帯除雪事業

574万円

障害者介護給付費

1億9,957万円

人工透析患者事業

496万円

在宅介護手当

604万円

保育園増築設計業務委託料

3,465万円

保育園園庭造成工事他

2,813万円

## 衛生費

妊産婦医療費助成事業

150万円

子どもの医療費助成事業

2,208万円

寝たきり0運動事業

931万円

町立病院補助金・出資金

3億1,573万円

津南地域衛生施設組合負担金

1億4,680万円

## 農林水産事業費

農産物認証制度・土づくり事業補  
助金

1,000万円

県単農林水産業総合振興事業補助金

6,583万円

中山間地域等直接支払交付金事業

1億1,470万円

多面的機能支払交付金事業

1億3,366万円

林道補修事業

950万円

## 商工費

移住定住促進助成事業

395万円

## 土木費

道路修繕事業

1,900万円

町道改良舗装・修繕工事

1億200万円

除雪機械購入事業

5,190万円

住宅改修補助

600万円

生活道路消雪施設事業補助

234万円

克雪すまいづくり事業補助

594万円

## 消防費

十日町広域事務組合消防費負担金

3億8万円

## 教育費

津南小消パイ・芦小屋屋根修繕工事費

5,461万円

特別支援教育振興事業

4,951万円

埋蔵文化財活用拠点施設（資料館  
屋根工事を含む）

9,469万円

ジオパーク推進事業

2,175万円

## 特別会計

国民健康保険特別会計

9億9,257万円

後期高齢者医療特別会計

1億3,317万円

介護保険特別会計

17億740万円

簡易水道特別会計

1億2,269万円

下水道事業特別会計

4億8,117万円

農業集落排水事業特別会計

2億9,783万円

病院事業会計

13億2,692万円

## 令和元年度補正予算

一般会計（第8号・専決処分）

補正額 4,983万円

総額 73億7,146万円

一般会計（第9号）

補正額 △2億3,810万円

総額 71億3,335万円

令和2年  
第一回臨時議会

3月30日開会

令和元年度

一般会計補正予算（第10号）

補正額 2億4,113万円

総額 73億7,449万円

〔主な項目〕

財政調整基金積立金

2,180万円

町立津南病院補助金

2億1,379万円

商工信用保証料補助金

200万円

# 一般・特別会計討論

## 一般会計

### 修正動議説明

発議者 石田タマエ

議案第24号 令和2年度津南町一般会計予算について、次の理由で修正動議を提出する。

①上郷保育園、わかば保育園の統合時期が決まっていないことや、地元との調整もできていない。また、今後津南町の保育をどのように進めていくのか、どう整備するのかが示されていない。

②今回の予算計上手続きにあたり、当局は「まだ住民の合意ができていないので計上できない」との話であったが、年が明けると突如「実施設計予算を計上する」と説明があった。このことから、議会をはじめ、住民が混乱し、町内を二分するような騒動に発展し、お互いの信頼関係を損ねることも

危惧される。

これは、町長をはじめとする当局の責任であり、議会の責任でもない。大きく反省しなければならぬ。本事業はこの先1年間をかけて、住民・保護者・議会・当局としつかり議論を尽くした上で着手すべきであると考える。よって、本予算から保育園整備に関する予算を減額した修正予算を提出する。

### 修正案賛成

賛成討論 栗原 洋子

ひまわり保育園1園化、270人規模、総事業費約10億円が示されてから住民、保護者、議会を混乱させ、分断させてきた町の姿勢に憤りを感じる。今回の実施設計費計上は副町長が再三、「新年度予算にはあげられません」と言ってきたのに、急遽実施設計費など6,632万円が計上された。保

育園1園化ありきで進める中、既存の保育園の設備の不備、未満児童の改善、保育士確保などに向き合わず、緊急課題より10億円の新保育園建設を優先している。

今回ひまわり保育園で発生したノロウイルス集団感染、園児38人、職員5人が感染、登園自粛の状況だ。危機管理の認識は、「マニユアル通りやっている。今回の対応は基本的には問題ないと認識している」と答弁。こういう認識が問題であり全く危機感がない。よって今回の修正案に賛成するとともに議員の常識ある判断をお願いする。

### 賛成討論

小木曾茂子

修正案に賛成の討論を行う。

3つの理由を述べる。  
1、世論が2分する中で対立を固定化する。

2、わかば保育園が地域の中で保育を続けられるのか不安がある。

3、請負業者の公平性が保たれるように公募制にする必要がある。

以上の理由で、予算化を一年先送りし、議論を尽くす必要があると考える。

### 賛成討論

桑原 義信

私たち新議員には、保育園増築工事基本設計が示されていない。昨日の質疑で、「後々説明する。必要な方は渡す」と言っている。そのような曖昧なやり方では、この予算を認めるわけにはいかない。決められてから理解を求めただけになる。私たち議員は、地域、住民、町民の意見の代表であり、町民に対して責任を持つ。建設の中身が何も分からないうちに賛成することは無責任だ。この予算は白紙に戻し、議論を尽くすべきだ。町民の多くが反対している中、なぜ急ぐのか。ただ先にのぼすのではなく、町民と議論を尽くすこと。町長は地域に出かけて町民の意思を聞くべきだ。

上郷・わかば保育園は、統合に合意していない。よってまだ250人だかわからないような皮算用なひまわり保育園の増改築工事の当初予算6,632万2千円の計上は、認めるわけにはいかない。取り下げるべきだ。以上を述べて修正案に賛成する。

## 原案賛成

## 賛成討論

村山 道明

一般会計予算案は、農産物の産地化推進や、新規に「米・食味コンクール国際大会津南町開催」にむけての、全国への津南米の啓もう・啓発活動及び良質米生産に向けての土づくり事業補助、子どもの入院費全額助成、また、行財政改革に沿って歳出を抑えるため各事業216項目の見直しに取り組んだ。新年度は、新保育園整備事業「ひまわり保育園の増設の整備費用」を計上した。将来を託す町民に、子育てしやすい保育施設充実が急がれている。

新年度も未満児の入園が増え、待機児童も心配される。保育園建設は、早朝・延長保育、土曜・休日保育の実現に期待が持てる。更に、津南町への移住・定住につながることも期待できる。新年度は、町長に成長への指導力を強く希望し、本案の賛成討論とする。

## 賛成討論

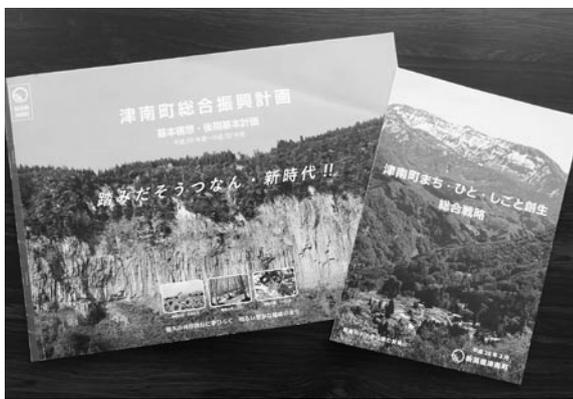
久保田 等

町税が減少し、財政が厳しい中、地域協力隊を6名体制に増員し、新たに集落支援員を専任で2名配置することとした。新年度予算を見る限り、外部の若者の力を借り、より観光、定住、移住対策に力を入れ、関係人口・交流人口を増やし町を活性化して行きたい気持ちが大変強く感じられる。また教育の面でも英語指導助手を2名配置するなど外国語教育の充実と将来の地域の国際交流の推進に力を入れていくことが伝わってくる。また、保育園整備においては、保育園実施設計費並びに園庭整備費が計上されたことにより、ようやく今までの保護者の様々な要望が解決に向かうものと大変うれしく思う。いち早く未満児専用の保育園を増築し、安心して一人でも多くの子どもを産み、そして育てられる環境を整える事が出来るための新年度予算である。若い世代の声を大事にして若者そして子ども達の未来のことを考えた一般会計に賛成する。

## 賛成討論

滝沢元一郎

本年度は町総合振興計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定、観光地づくりに法人設立検討会など町の将来にとって重要な課題を抱えている。具体的な戦略を立案し実行することが地域振興の鍵となる。農業面では法人の設立に伴い機械設備への支援があるが、さらに生産現場における情報共有化により経営の安定化に努めてもらいたい。保育園の増設の実施設設計及び園庭造成では、少子と保育ニーズに対応するとともに



令和2年度に策定される振興計画と総合戦略

にたくましく生きる力を育むために四季折々の体験や田畑による生産活動など、新たな生活環境を整えるよう設置者、保育者、保護者、有識者からなる検討会を早急に開催することをもって原案に賛成するものである。

## 賛成討論

筒井 秀樹

今回の予算はDMOに向けた準備、分課による商業観光の強化推進など今までになく期待される内容が盛り込まれている。

保育園整備に関しても8年待たされた保護者たちがようやく少しだけ前に進められる内容である。将来に向けて、介護や看護現場等の職員も、早朝保育や延長保育、土曜保育等が保育園整備によって、より良い行政サービスとして提供できれば、働きやすくなると思われる。より良い予算の使われ方になるかは注視が必要だが、若い世代の働きやすさにつながり、限られたマンパワーを集約できる。充実した行政サービスの提供を願い、原案の賛成討論とする。

# 総括質疑

## ごみ焼却施設について

草津 進

**問** 改修、新規更新、委託した場合の試算された中身と、町民の関心のある身近な処理場であり、今後の進め方を。

**町長** 津南地域衛生施設組合の専門委員会、町の課長会議で検討してきた。ごみの分別については、住民の皆様から協力をいただかなければならないが、十日町市に燃えるごみ処理を委託した場合、経済面や環境性に優位である。今後は、組合と十日町市において収集方法や分別方法について検討し、令和2年度中に委託時期を決める。



ゴミ焼却場の視察

## 感染対策の認識は

桑原 洋子

**問** 全国でウイルス感染対策が重要な時、一番の懸念の保育園での感染症、今回ひまわり保育園のノロウイルス集団感染で登園自粛と聞く。マニュアル通り行うとしたのが機能しなかったのか、大規模保育園化を進めようとしている町の危機管理の認識を伺う。

**町長** 感染症がひとたび発生した場合、最悪の状況を想定し対策、準備が肝要と考える。

**教育次長** マニュアル通りにやっている。今回基本的には問題ないと認識している。



ジオパーク拠点に改築予定の旧中津小

## 手厚い就学援助を

桑原 義信

**問** 津南町の就学援助制度の援助率は、5.2%と県下最下位クラス。援助希望の有無にかかわらず、全ての保護者が申請書を提出し、町が判断する対応に変えたらどうか。

**町長** 本制度は保護者の申請によるものである。保護者に確実に制度が周知されるよう対応していく。

**問** 限定所得基準を生保の1.5倍に引き上げるべきではないか。

**教育次長** 自治体の8割が1.3倍である。

## 将来計画と都市交流は

滝沢 元一郎

**問** 各計画策定のための人選と推進体制は。

**町長** 総合振興計画策定委員は5部会28名、うち公募10名、創生総合戦略策定も一体的にする考えである。

**問** 観光資源や伝統文化を核とした都市との交流、埋蔵文化財活用拠点の運営協議は。

**町長** 交流のターゲットとして町出身者を始め、ふるさと納税者や企業などがある。ジオパークビジ

ターセンターとして文化財保管展示をする。活用・運営に関する協議会で視察や野菜販売グループとの連携など検討をしている。



旧中津小の内部工事

## 緊急時対応を聞く

小木曾 茂子

**問** 町内各温泉施設等の管理委託料はどこが決め、収支の評価は何を基準にどこが行っているのか。

**総務課長** 各課で別々に行ってきたが、公共施設等総合管理計画の中でその役割等について評価することも必要と考える。

**問** 津南病院の空病床を緊急時避難病床として活用はできないか。

**病院事務長** 限られた医療スタッフでは難しいが、緊急時に外からの医療スタッフを確保できれば、対応も可能となると考える。

# 陳情 2 件

厚生労働省による「地域医療構想」推進の為に公立・公的病院の「再編・統合」に抗議し、地域医療の拡充を求める陳情書

総文福祉常任委員会に付託

全員賛成 採択

賛成討論 栗原 洋子

豪雪地帯の実態を全く考慮しない、今回の基準による「再編・統合」は、住民を医療から遠ざけるものであり、地域医療の「最後の砦」となっている病院を無くすることにつながり、人が住めない町になってしまう。

新潟県は国の政策先取りで、財政危機を理由に「県立病院の統廃合、県単補助金の見直し」など、聖域なく行い、「県民の皆様痛みを我慢していただく」と方針を示している。

医療資源が少ない魚沼圏域の病床を、これ以上減らして良いものか。今後も医療格差が広がるような方針を取るべきではない。

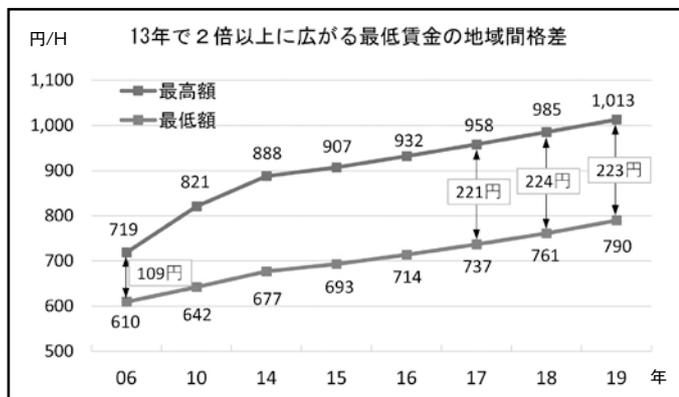
全国の多くの病院が赤字経営である。医師会の要求でもあるように、診療報酬を引き上げて安定経

営ができる条件にすることが必要だ。よって今回の病院「再編・統合」に抗議し、地域医療の拡充を求める陳情書に賛成する。

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

産業建設常任委員会に付託

全員賛成 採択



本会議において、陳情2件にかか  
る意見書が可決されそれぞれ関係  
機関・大臣宛に提出しました。

## 令和2年3月 議会採決結果

議案番号	件名	採決結果
議案第1号	津南町課設置条例の制定について	賛成多数で可決(反対1)
議案第2号	津南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第3号	新潟県中魚沼郡津南町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第4号	津南町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第5号	津南町町政事務嘱託員設置条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第6号	津南町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第7号	津南町子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第8号	津南町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第9号	津南町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第10号	津南町母子手当等支給条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数で可決(反対3)
議案第11号	津南町医学生等修学資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第12号	津南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数で可決(反対2)
議案第13号	津南町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第14号	津南町簡易水道及び小規模水道条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数で可決(反対1)
議案第15号	津南町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決

# 町政を問う!!!

## 一般質問(10議員)

### 1 草津 進 議員(8ページ)

1. 人口減少対策室の設置を
2. 津南さんさん計画とは
3. 空き家対策の推進について

### 2 風巻 光明 議員(9ページ)

1. 環境対策と自然エネルギー政策について
2. 町が設置した「データセンター」について

### 3 小木曾茂子 議員(9ページ)

1. 竜ヶ窪温泉の再開の用途は
2. 小中学校における SNS LINE ゲームなどの規制について
3. 町の原子力防災計画について 4. 津南病院の今後について

### 4 久保田 等 議員(10ページ)

1. サテライトオフィスなどに活用するための空き家、IT環境の整備の進捗結果について
2. 住環境の整備など
3. 子育て世代の負担軽減対策について

### 5 桑原 義信 議員(10ページ)

1. 農業の担い手、後継者対策について
2. 補聴器購入への助成について

### 6 筒井 秀樹 議員(11ページ)

1. 英語教育の今後の方向性について

### 7 関谷 一男 議員(11ページ)

1. 台風19号の災害検証について
2. 仮設住宅について
3. 国道117号道路整備について

### 8 桑原 洋子 議員(12ページ)

1. 保育園建設実施設計費の予算案について問う
2. 会計年度任用職員の待遇を問う
3. 小規模自治体の維持と地方交付税についての考えを問う

### 9 滝沢元一郎 議員(12ページ)

1. 観光地域づくり法人 DMO の設立について
2. 保育行政について

### 10 石田タマア 議員(13ページ)

1. 介護予防事業の取り組み評価と今後の進め方について
2. 保育園統合整備の進め方について

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

## 人口減少対策室の設置を

町長 当町においても重要な課題として認識している。新年度における具体的な子育て環境を支援する施策として、ひまわり保育園の増築実施設計や園庭の整備、子ども医療費における入院費の全額助成、不妊治療や産後ケアのほかに英語指導助手の増員、学習支援員の配置、保小連携の教育力の強化、空き家改修助成事業、移住定住促進助成事業など、人口減少をいかに食い止められるか、そのための多岐にわたる施策を実施する。未来会議の継続、観光地域づくり法人の設立に

町長 希望と愛、参加のできる町づくりを掲げる桑原町政、まずは人口の減少をどう食い止めていくのか。

町長 緊やかな課題として認識している。新年度における具体的な子育て環境を支援する施策として、ひまわり保育園の増築実施設計や園庭の整備、子ども医療費における入院費の全額助成、不妊治療や産後ケアのほかに英語指導助手の増員、学習支援員の配置、保小連携の教育力の強化、空き家改修助成事業、移住定住促進助成事業など、人口減少をいかに食い止められるか、そのための多岐にわたる施策を実施する。未来会議の継続、観光地域づくり法人の設立に

人口減少を  
どう食い止めていくか



草津 進 議員



津南まるごと森林公園

町長 森林環境税、同譲与税の創設によって、森林・林業に関心を持たせる具体策は。

町長 森林環境譲与税を活用した森林整備計画を県・町・森林組合で検討し、津南さんさん計画を作成した。さんさんとは町、林業、農業の3者が良くなる意味である。里山の再生を図り林業に関心を持っている。

津南さんさん計画とは

向けた調査・検討、苗場山麓ジオパーク事業や観光誘客事業を行い、新規農業法人設立や基盤整備の相談をしながら稼げる農業を進め、人口減少をおさえていく。人口減少対策室は職員に限りがあり、専門部署は難しい。

町長施政方針と令和元年補正予算と令和2年度予算  
一般・特別会計討論  
総括質疑、陳情、議案採決結果

一般質問、事務局人事

人事、発議

委員会レポート

# データセンター計画を進めよう

**町長** 世界的に大きな問題で市町村レベルの取組は重要と認識している。町でも燃えるゴミは年々増加し、そのため、資源の再利用、リサイクルを更に行っていく。また、津南町では森林組合が中心になり、カーボンオフセット制度を利用したプロジェクト活動を行いクレジット化され削減活動に繋がっている。

**問** 国内外で異常気象による大雨、洪水などが多発し甚大な被害が出ている。地球温暖化の原因は二酸化炭素の排出増によるものだ。生物や大気、水などは複雑な関係を結び生態系を維持してきた。この財産を人間が破壊している。まずCO2の削減について町はどう取り組んで行くのか。



風巻 光明 議員

## データセンターの取組を急げ

**問** 平成28年に県主導で中深見地区に設置された雪・水を活用したデータセンターは、町の特色を生かした産業誘致で大きな期待があった。しかしその後目立った動きもない。雇用や大きな税収も見込まれず、今まで何をやって今後どうするつもりなのか。

**町長** 「雪冷熱効果実証事業」でコンテナ型データセンター1基を設置し検証している。県は7年間効果検証を行っており、町として実証期間中は県に協力し雪の積み上げを行っている。今後は結果を確認したうえで活用について研究したい。



津南源内山地内に設置されたコンテナ型データセンター

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 安全で安心な町づくりを

**問** 尾木直樹講演会でSNSの長時間使用の危険性が指摘されたがその後の対応は。

**教育長** 育ネットつなごの地域部会を中心に検討中。まず、親のルール作りを進め、子ども、保護者、先生ともに勉強し、

**問** 温泉での説明会の後の進捗状況を伺う。

**町長** 町内外から経営候補者を探している。決定の時期は明確でない。

**問** 委託金の支払い、ふるさと納税の活用について伺う。

**町長** 今後の交渉で委託料、指定管理などの方法を話し合っていく。ふるさと納税についても活用方法について検討していく。



小木曾 茂子 議員



1月15日 竜ヶ窪温泉説明会

**問** 子どものセルフコントロール能力を高めることを目指していきたい。

**町原子力防災計画を問う**

**問** 安定ヨウ素剤を希望者へ配布してほしい。

**町長** 県の方針に従う。

**問** 福祉避難所はどこにどれだけあるか。

**町長** かりんの里、みさと苑の空き状況による。

**問** 避難指示の徹底など課題を解決するために4年に一度防災祭りを開催してはどうかか。

**総務課長** 旧村地域ごとに防災訓練を行っている。

**町立病院の今後は**

**問** 町民の希望を全戸調査してはどうかか。

**町長** 懇談会で、経営状況について説明を行う際に、意見を聞いていく。

# サテライトオフィスの誘致を



久保田 等 議員

## サテライトオフィスの誘致について

**問** 津南町まち・ひと・しごと創生総合戦略の一つ目の基本目標「雇用の創出」での具体的な施策で、平成31年度末で空き家を改修し、IT環境を整備しサテライトオフィス、在宅テレワークの場所を5カ所設ける目標に対して結果はどうであったか。また、今までのような工場誘致ではなく、情報通信技術（ICT）を取り入れた高学歴者・若者・女性等の地元での雇用の場の選択肢を広げ、より多くの若者がUターン・イターンして来られるよう、今後のサテライトオフィスの誘致の予定を伺う。

**町長** 5年前に計画には挙げたが、どの部署で取り組むかといった具体的には何もできなかった。令和2年度は誘致

に向け整備・調査・研究に取り組んで参りたい。

## 家庭と仕事を両立する支援について

**問** 年間50人しか子供が生まれないのに1月31日付けで待機児童が10数名発生し、中には十日町の保育園に入所を申し込んだ家庭もあり、情けなく思った。また、家庭で保育をする家庭に対して1歳まで月6万円、3歳まで月3万円補助を出している自治体もあるが、津南町ではこのような経済的支援の考えはあるか伺う。

**教育長** 保育士が8名不足していたが臨時保育士を全員採用できれば待機児童は解消できるのでは。

**町長** 町独自の補助金となると検討していかないで、いろいろな考えを聞きながら検討する価値はある。

**サテライトオフィスとは？**  
英語のsatellite(衛星)の事を指し都心(本社)を中心として地方に衛星のように存在するIT関連等の遠隔勤務の出来るオフィスの事。  
パソコン1台でオフィスが出来る為、IT関連・サービス業・デザイン業といった業種が主である。移住増と地元雇用に期待が持てる。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 家族農業を守る施策を



桑原 義信 議員

## 日本の97パーセントが家族農業

**問** 国による支援のほとんどが大規模農家や法人を対象にしたものが多く、兼業農家や中・小農家への支援策がほとんどない。経営が十分に可能となる支援策とともに、後継者への就業施策について伺う。

**町長** 津南町独自の新規就業農者への支援として、町外出身者の新規参入者の受け入れ、空き家や農地の斡旋、新規就業農者アパートについても継続して実施する予定である。

**問** 農業女子や農業青年が、農業を引き継ぎ家族農業を守って懸命に取り組んでいる。それらの支援策は。

**町長** 農業次世代人材投資事業を推進し、農業後継者への支援を図っていきたい。また、仲間づくりも重要と考えてお

り、地元の若手農業者グループへの参加も呼びかけている。

## 補聴器購入への助成を

**問** 補聴器は高齢者が生き生きと暮らせるように、社会参加促進の必需品である。年金などで暮らす高齢者にとって補聴器は高額で手が届かない。補聴器購入にあたって補助する考えはないか。

**町長** 兵庫県議会では、加齢性難聴に対して公的補助制度創設の意見書を採択している。限られた財源の中で、受益と負担の公平性等の点から町単独の実施は難しい。国の動きを注視し制度創設を要望する。



早い雪解け、もうすぐ春耕が始まる

# グローバル化社会で生き残るために



筒井 秀樹 議員

## 英語教育の今後の方向性について

**問** 今年度から、小学校3学年から英語の導入が始まり、外国人の英語指導助手をイングリッシュアダドベンチャーと連携して経費削減、人員の拡充は評価できる。

**答** 国際化時代を迎え、国もコミュニケーション能力育成に本腰を入れてきている。

近い将来、津南町でも多くの外国人労働者が入ってくるのではないかと想像できる。

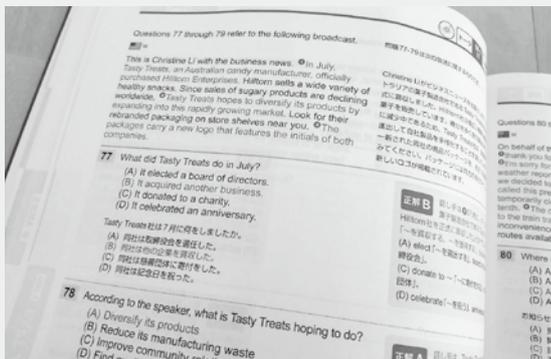
農業でも、観光でも、役場の窓口、病院でも英語が必要な時代がもう来ている。

そこで、第一に教員の英語能力、多くの教員が対応できる準備ができているか伺う。

第二に幼児期の子供たちの吸収力は目を見張るものがある。

り、その時期に英語に触れられる環境のあるなしでは今後の英語への取り組みに大きく影響すると考えるが、今後、幼児英語の取組の展望を伺う。併せて、第三として、生涯教育としてビジネスや日常の英会話の取組は導入できないか。今後の行政サービスとしての取組の方向性を伺う。

**教育長** 教育委員会としては、校内外での研修・実践等で教員の指導力向上に努めてきた。幼児英語は、現在白紙の段階だが英語教育十二年計画を構想し研究していく。現在、生涯学習では2団体が公民館で英会話の活動を行っている。



英語教育をいち早く

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 災害検証と国道117号整備は



関谷 一男 議員

## 台風19号の災害検証は

**問** 国、県、長野県と連携した対応が求められるが検証はしているのか。

**町長** 県では、信濃川河川改修の22カ年計画を今後5カ年で実施する計画でいる。河川整備ハード対策と地域連携ソフト対策で均衡のとれた河川改良を進める。

## 仮設住宅の対応は

**問** 災害により仮設住宅が必要とされた場合の対応は。

**町長** 仮設住宅が必要とされる災害は、震度5強以上の震災、広域的な豪雨河川水害、豪雪災害等が想定され、発生もしくは発生するおそれがある場合は、町域防災計画の初動マニュアルに沿って対応する。また被害が甚大な場合、県に依頼し応急仮設住宅を設置する。

## 国道117号整備について

**問** 国道117号道路の整備について、バイパス、迂回路についての考えを伺う。

**町長** 国道117号は長野から小千谷を結ぶ重要路線である。町の最重要箇所である灰雨改良トンネル道路改築事業が着手された。非常時のための道路新設は、地形的に事業費が嵩むことから難しいと考える。

## 電柱の危険性対応は。

**建設課長** 道路管理者に、電柱設置事業者等が、それぞれの占用申請をして設置する流れで立てている。電柱の倒壊等については、占用調整会議で危険性を知らせ検討する。地中化については、事業費もかかることから進んでいない。



電柱の倒壊が心配

# 建設より施設の改善保育士確保が先だ

**町長** 当面上郷、わかば、ひまわり保育園の3園で行き、出生数減少が続けば将来的な1園構想もありうる。保護者の意向や地域の皆様の考え方を尊重して参りたい。町行政として不要な投資をするつもりはない。今必要な投資をさせていただく。

**問** 町は今迄保育園一園化の説明を繰り返してきた。今度は3園化と言う。議論も合意もなしに保育園整備実施設計費6,632万円の計上は本末転倒ではないか。もう一度基本設計を示すべきだ。住民、保護者、議会が分断されたのは町長、教育委員会の責任では。建設より今すべきことは、緊急の待機児童解消、施設の充実、保育士確保ではないのか。

## 唐突な実施設計費計上は本末転倒



桑原 洋子 議員

待機児童対策では保育士の町内の人材確保が難しく、十日町市、栄村からも確保している。令和2年度は現在勤務の保育士が十日町の保育園に勤務することや、他に退職者が見込まれること、0歳児入所申し込みが増えたことで例年になく保育士確保が厳しい状況。

**教育次長** 基本設計は変えられない。1園にした場合一つの指標みたいなもの。

**問** 地方交付税と今後の町のあり方を伺う。

**町長** 地方交付税は憲法で保障され安定的な財政運営のため必要である。いつまでも住み続けていけるような町にして参りたい。



ひまわり公園絶対なくさないで

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 今後の保育の在り方は

**町長** 園舎の増築、園庭整備には保育士の意見も反映させる。

## 今後の保育行政は

**問** 観光地域づくり法人組織の検討会はどのように開催していくのか。

**町長** 検討委員会は農協・森林組合・商工会・観光協会・地域づくり団体・未来会議委員などを予定し、令和3年度の早い時期を目指して設立したい。

## DMO設立検討会はいかに



滝沢 元一郎 議員

る。保護者や地域住民との関わりも充実させたい。多人数保育による質の低下を招かないためには保育士の裁量が大きく影響するため資質の向上が必要である。県保育士会や専門家による研修など細やかに実施している。こぼと保育園は学童保育にも対応できる。園増築が完了する3年後の公債比率は約10%程度を見込んでいる。



どんな園舎と園庭になるのか

# 保育園建設を何故急ぐ

## 大規模保育園で保育の質を落とさない対策は何か



石田 タマエ 議員

**問** 保育園を整備する上で施設規模は保育の質を左右する重要な課題である。保育園整備検討委員会で、学識経験者や保育士、保護者などで構成された諮問機関として2園構想をまとめていただいた。しかし、大幅に施設規模を変更する過程の中で、行政当局のみで進めてきたことは良いとは言えない。また、子どもの育ちに200人を超える大規模保育園となると保育の質の低下が懸念されるが、低下させない確たる対策は何か。また、上郷・わかば保育園の統合時期が決まっていないのに全町統合した人数の保育園を建設することは無駄ではないか。

### 教育長

答申を尊重しながら

進めてきたが、ひまわり保育園1園に変更する過程の中では専門家や住民・保護者の意見は聞いていない。保育の質については、低下を招かないように保育士の研修等を通して質の底上げを図る。現場では100人規模と200人規模で検討したことはないが、津南の子どもは皆同じ環境で育てたいと言っている。全保育士が270人の児童の個性や家庭環境を覚えることは困難だ。上郷・わかば保育園保護者には、今後時期を見ながら理解を求めていく。両保育園がいつ統合してもいいような規模の保育園を作っていくことは無駄ではない。



まだまだ健在「こぼと保育園」

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

## 事務局人事

### お世話になりました

高橋 昌史  
(教育委員会)

議会事務局には2年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。「町民のための議会」を標榜する津南町議会に、少しでもお役に立てればと思いつながら日々過ごしてまいりました。

この間、町長選挙、町議会議員選挙が行われ、町政にも新しいかぜが流れる中、本事務局でそのかぜの優しさを、力強さを、賢明さを身近で感じられたことは大変有意義な時間となりました。

保育園統合問題、ごみ処理問題等、町には多くの課題が山積していますが、今後も住民・行政・議会が「ワンチーム」となり、課題を解決していくことが重要と考えます。

最後に、町議会のご繁栄と議員各位の更なるご活躍をご祈念申し上げます、異動の挨拶といたします。ありがとうございます。

### よろしくお願いいたします

野崎 健  
(福祉保健課)

このたび、議会事務局長を拝命いたしました。よろしくお願ひいたします。

町では、今年度町の最上位計画である「津南町総合振興計画」を策定いたします。計画の策定にあたっては、町職員はもちろんのこと、町民代表のみならず、関係機関・団体、そして議会もいっしょになって計画を策定することになります。

町の取り巻く現状は、医療・公共交通・保育園など課題も山積しております。

これらの課題に対し、町議会も住民、行政と一体となって課題解決への方向性を導きだしていくことが重要だと認識しています。

はなはだ微力ではありますが、円滑な議会運営に努めさせていただきます。ご理解、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

## 議員6名連名による議員発議の説明を小木曾茂子議員が行いました。 審議の結果、以下の意見書の提出を全会一致で可決しました。

### 除染土再利用の省令案の再考を求める意見書(抜粋)

環境省の審議会は、2011年福島第一原発事故により放出された放射性物質を含む除染土を再利用するための省令案を本年2月1日に発表した。その施行予定日を4月1日としている。

あまりに拙速な省令施行を再考していただきたい。省令案においては、再利用すべき除染土の放射能レベルも記載されておらず、その監視期間も明確ではない。わが津南町は、「農業立町」であり、信濃川の上流域に位置し、自然の恵みを糧に縄文時代から祖先が住み続けてきた地域である。風評被害を含め、放射性残土の持ち込みは、町の死活問題となる。どこの産地であれ、予防原則に従い、子供たちの放射能取込みは極力避ける必要がある。放射能が十分に減衰するまでしかるべき方法で発生者である東電と設置許可をした国が、3.11事故に伴う放射能汚染土の保管を続けるよう求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

津南町議会議長 吉野 徹

〈提出先〉 内閣総理大臣 安倍晋三様 環境大臣 小泉進次郎様

後日、環境省から「本省令の実施を見送る」との発表がありました。

#### 賛成討論

桑原 洋子

福島第一原発事故で放出された放射性物質により汚染された土壌を、除染した汚染土の放射能レベルは低いとされているが、再利用しようとしている除染土の放射能レベルは示されていない。

「環境省令案」では、具体的な制限や責任が何一つ盛り込まれず、このままでは高濃度の放射性物質が含まれる除染土が、住民の知らない間に再利用され、さまざまな管理により除染土が拡散してもその責任を誰も負わないことになりかねない。今回の意見書案にあるようにこの2月1日に発表し、4月1日施行予定などとはあまりにも拙速であり、住民周知と議論のないまま除染された土を元に返すことなしに拡散されようとしていることは疑問である。よって意見書に賛成する。

#### 賛成討論

桑原 義信

放射性物質は集中管理が原則。公共工事への再利用は、事実上の最終処分になる。つまり分散して埋め立てることになる。豪雨や河川の氾濫、地震などの自然災害が多発、激甚化している中、しっかりと盛土でも崩れたり、流れたりしたらどうなるか。いったん除

染土を使ってしまえば、放射性物質を環境中に拡散することになる。観光や農産物への新たな風評が出る。建造物の寿命が終わった後の資材がどうなるかについては、全く不明である。

原発施設などから発生する低レベル放射性廃棄物は、ドラム缶に詰めて厳重に管理、処分されることになっている。集中管理が原則である除染土は、公共工事や農地造成に利用すべきではない。

無責任な除染土利用の省令案には反対である。よって除染土利用の省令案の再考を求める意見書に賛同する。

#### 人事

◆津南町教育委員会委員任命の同意 (全員賛成で同意)

島田福德氏 (宮野原)



東亜大学経営学部経営学科卒  
平成14年4月より島田農園勤務  
平成31年4月より新潟県立津南  
中等教育学校PTA副会長

## 委員会レポート

## 総文福祉常任委員会

## 町教育委員会との懇談会

とき 2月4日(火)

ところ 役場第一委員会室

内容 新年度における教育方針及び重点施策について  
・教育現場（小中学校）の実態  
・ジオパーク拠点の状況についての懇談した。

教育の動向内容や方法も時代とともに進化していく。しかしながら、時代が変わっても変わらない、変えてはいけない教育の本質がある。それは、知・徳・体、調和のとれた人間を育成すること、人が人として正しく生きる道を伝え続けることである。教育の動向を踏まえ、新学習指導要領に即し、当町の実態を考慮した教育を推進する。各学校では、移行期間の実践を踏まえ作成した、各校の特色ある年間指導計画に沿って教育を進めていくのが、重点施策基本方針である。キャッチフレーズは「胎児から就労までの切れ目のない子育て支援」であり「強くてやさしい子」を育てる津南町、早い環境の整備で、学校も保護者も地域の

共通理解で郷土愛教育を望む。

(担当 草津 進)

## 産業建設常任委員会

## 津南町農協農業委員会との懇談会

とき 1月24日(金)

ところ 役場大会議室

内容 J A津南町から令和元年の営農部関係、米穀・園芸・畜産合計29億9,069万円の実績報告と令和2年度計画32億3,931万円が示された。

農業委員会と産業建設常任委員会からは、令和2年度の町への建策要望について、町当局から回答の説明があった。

以下、次のような意見が出された。

暖冬小雪のため雪下ニンジンについてはG I基準である3か月間の雪中確保ができるか心配がある。極端な水不足に陥るのではない。各ダムについては早めに水を溜めることが必要である。水の絶対量が不足しているので嵩上げも必要である。一斉に田かきをする必要に足りなくなる。節度ある水のかけ方をしてもらいたい。ペレット堆肥が不足するので対応してもらいたい。

旧来のコシヒカリは猛暑高温にも強く、整粒も非常に良い。もつと増やすことはできないのか。

## 懇談会を終えて

今年こそ天候に恵まれ作物の順調な作柄が確保されるよう期待する。

(担当 滝沢元一郎)

## 道路除雪状況調査、災害復旧現地視察

とき 2月12日(水)

ところ 大場ノ所平間、外丸巻下、足滝地区

内容 産業建設常任委員会では、2月の活動として道路除雪状況調査、災害復旧現地視察を行った。天候にもめぐまれた当日、大場ノ所平間の除雪状況は、道路幅も狭い現状のなか、生活道路を確保するため、きれいに除雪がされていた。災害現地視察の巻下地区では、信濃川の本流を仮堤防で流れを変えての復旧作業、足滝地区では、作業車両、重機等の進入路作りと、作業は順調に進んでいるとのこと。今後堤防の嵩上げ作業が進められると説明があり復旧作業も本格的な工程に入ると感じ

## 調査現地視察を終えて

まだまだ道路整備が不十分な路線での除雪に努力されている皆様に感謝する。災害現場では、厳しい作業をされている皆様には、安全第一で事故ケガのないことを願う。

(担当 関谷一男)



復旧工事が進む足滝地区



# 町民登場 おしゃべり大好き

## 江村 あゆみさん(正面)

### ■自己紹介

江村あゆみ 34歳です。5歳、3歳、4カ月の娘と夫の5人家族。新潟市で10年間幼稚園に勤めていました。

### Q. 津南町の第一印象は？

自然が多い所と、子供の環境に良いと思いました。雪下にんじんやスイートコーンなどが大好きです。

### Q. 津南町に住んでみた感想、要望は

住みやすい町だし小さな町だからこそいいところがあります。子育て支援センターでのママ達とつながりもありますが、こういう集まる場所が一箇所なので、十日町市の「めぐらんど」にも行ったりしています。

土日遊ぶ場所や遊具などもあり、集まれる場所がいくつかあれば自分に合う雰囲気のところを選べるなと思います。

### Q. これからやってみたいこと、趣味は？

人と話すことが大好きでお茶やコーヒーを飲みながら、子供や高齢者が和気あいあいと楽しめる場所を作りたい、協力してみたいです。やりたい気持ちがいっぱいなんです。カフェに行ったり出かけることが大好きですね。

### Q. 我が家のアイドルは？

3人の娘たちです。

### Q. 最後にひとこと

交流スペースを作って欲しい。そしてみんなで盛り上げていきたいです。

### インタビューしてみて

子育てで真っ最中なのにとっても前向きで明るい素敵なママさんでした。

要望を実現しましょうと意気投合しちゃいました。(栗原洋子)



どれで食べる？毎日でも飽きません。

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっています。感染は確認されていないものの、ここ津南町でも小中学校の休校、雪まつりの中止、卒業式の簡素化、観光客のキャンセルなどで人の動きもお金の動きも止まってしまったようです。いつまで、という終わりが見えないだけに不安も募ります。  
しかし、妻有の大地では今年も雪下ニンジンの収穫が始まりました。小雪にも耐えた元気なオレンジ色の小さな命を見るとエネルギーも湧いてきます。免疫力のアップも期待できます。山菜やアスパラも出番を待っています。自然の力を信じて、力を合わせて、この困難を乗り越えていきたいものです。(小木曾茂子)

編集後記 Editor's postscript